

服飾手芸（ニットを含む）

岡本 真希子

3年 前期又は後期 選択 教職課程必修 (1単位 実習)

■授業の方針・概要

編物の代表的な三つの技法 かぎ針編み、棒針編み、アフガン編みについて、基礎的な技法を習得します。それぞれの技法に合わせた、作品を作る為に必要な増減法、とじ、はぎ。そして立体的な編み方。素材の特徴に合った組み合わせや編み方を学び、作品作りに活かせるように学びます。

■到達目標（学修成果）

かぎ針編み、棒針編み、アフガン編みの基礎技法を学び、理解する。編目記号図（JIS記号）を理解する。棒針編みでは、ベストの制作を進めながら、プルオーバー、カーディガン等の制作にも応用できる知識を得る。かぎ針編みでは、技法を組み合わせ様々な形（立体的な物）の作品制作を進める。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門選択科目の卒業要件科目となり、教員免許状習得のための教職課程必修科目です。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回	かぎ針編み：針の持ち方、基礎編み（鎖編み、細編み、長編み、長々編み等）	復習：その日に習った技法の復習	30分
2回	かぎ針編み：基礎編みのサンプル作成（方眼編み、シェル編み、玉編み、編み込み模様等）	復習：その日に習った技法の復習 基礎編みのサンプルを完成させる	60分
3回	かぎ針編み：コサージュなどの小物作成（平面、立体）を制作	復習：その日に習った技法の復習 小物作品を完成させる	60分
4回	棒針編み：針の持ち方、基礎編み（作り目、表編み、裏編み、伏せ目）	復習：その日に習った技法の復習	30分
5回	棒針編み：基礎編みのサンプル作成（表目と裏目の模様、交差模様、透かし模様）	復習：その日に習った技法の復習 基礎編みのサンプルを完成させる	60分
6回	棒針編み：基礎編みのサンプル作成（編み込み模様、ドライブ模様等）	復習：その日に習った技法の復習 基礎編みのサンプルを完成させる	60分
7回	棒針編み：増減パターン（減目の編み方、増し目の編み方）	復習：その日に習った技法の復習 基礎編みのサンプルを完成させる	60分
8回	アフガン編み：針の持ち方、基礎編み（プレーンアフガン）	復習：その日に習った技法の復習	30分
9回	アフガン編み：基礎編みのサンプル作成（かのご模様、ねじり目模様等）	復習：その日に習った技法の復習 基礎編みのサンプルを完成させる 応用課題作品の制作に向けて何を作るか考えてくる	60分
10回	棒針編み：作品制作（後ろ身頃）	復習：応用課題作品の制作を始める	60分～
11回	棒針編み：作品制作（前身頃）	復習：応用課題作品の制作を始める	60分～
12回	棒針編み：作品制作（縁編み）	復習：応用課題作品の制作を始める	60分～
13回	棒針編み：作品制作（とじ、はぎ）	復習：応用課題作品の制作を始める	60分～
14回	棒針編み：作品制作（衿の拾い目、仕上げ）	復習：応用課題作品の制作を始める	60分～
15回	まとめ：課題のフィードバックを行う	復習：応用課題作品の完成に向けて制作を進める	60分～

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

課題として、かぎ針編み、棒針編み、アフガン編み、それぞれの基礎編みのサンプルを提出。添削後、順次返却します。応用作品として、かぎ針編みの立体的な技法を使った小物作品、棒針編みのベスト（応用課題作品）を提出。

■成績評価の方法・基準

応用作品	40%
課題	30%
授業態度・姿勢	30%

■教科書

必要に応じて、プリントを配布しますので、ファイリングをして常に授業に携帯してください。

■参考文献

紀要7号（川口素子）「左利きの棒針編、かぎ針編について」 左利きの方への対応
いちばんよくわかる 新・かぎ編みの基礎 / いちばんよくわかる 新・棒針編みの基礎（株）日本ヴォーグ社
基礎シリーズ アフガン編み（株）日本ヴォーグ社

■オフィスアワー・研究室

連絡先：教務課 出講日：金曜日

■備考

進度により、内容を変更する場合もある。

ショップディスプレイ

田口 早苗

3年 前期又は後期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

ファッション販売の拠点となるショップは、空間演出の視点から、建築、インテリア、グラフィック、ディスプレイ等のデザインが重視される。店舗のコンセプト表現としてのショップディスプレイは、マーチャンダイジングのビジュアル表現としても重要である。身近な店舗の中からその表現方法を学ぶ。

■到達目標（学修成果）

ショップディスプレイを見極める視点の育成と、実際に有効なテクニックの習得を目標とする。

厚生労働省で推進している「商品装飾展示」と、「商業ラッピング」検定へのチャレンジ。共に検定試験受験者への対応は、別途に「受験対策セミナー」を実施する。「商品装飾展示」検定試験は前期のみ受験可能「商業ラッピング」は10月実施

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

専門選択科目の単位で卒業要件となります。「ショップディスプレイ」は、空間演出の基礎力とビジネスの基礎知識の向上に資する科目です。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回	オリエンテーション/VMD講義 (これから学ぶことの再確認。スケジュール確認と)	予習:シラバスを読む。特に内容が解らない所は授業で質問すること。	30分
2回	VMDの基本。ショップのあり方(報告書の作成方法指導)	復習:本日の授業内容を再確認する。	30分
3回	商品導入計画書	予習:教科書を読む復習:内容把握	60分
4回	ショップデザインの中のディスプレイをどう表現するか	復習:授業内容の把握	30分
5回	空間演出の種類と構成。カラーの店舗表現基本	復習:構成とカラーの特徴を把握。	30分
6回	VMDの実例	復習:内容の把握	30分
7回	東京コレクションとファッショントレンドの活かし方	予習:織研新聞や情報誌を読む。	30分
8回	まとめ・マーケティング	予習:今までの授業内容を再度確認。	60分
9回	照明効果について「パナソニック」に見学及び勉強会	復習:照明の基本を把握する	30分
10回	ショップディスプレイ演習・実技テクニック	準備:ディスプレイ演出を検討し、準備。	60分
11回	ショップディスプレイ演習・実技テクニック	予習:相互評価の基準を設定する。	30分
12回	外部講師の特別講演	復習:講義内容を把握する。	30分
13回	報告書の作成(パワーポイントの使い方)／ラッピング又はリース作成実技テクニック	準備:報告書に必要な資料の準備 リースは政策材料準備購入する。	90分
14回	報告書の作成(パワーポイントの使い方)／ラッピング又はリース作成実技テクニック	予習:報告書発表の事前準備	30分
15回	報告書の作成及び提出	予習:報告書発表の準備	30分

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

試験の解説、試験・レポート添削返却。コンピューター（パワーポイント）使った企画報告書の作成とプレゼンテーション指導

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%	授業の2/3は出席する事
作品(ディスプレイ演習)	15%	テーマ・デザイン・カラー・構成・インパクト
作品(リースorラッピング)	15%	ディスプレイのスキルアップを実施する
まとめ(テスト)	10%	授業内容の把握確認
店舗調査報告書	20%	街のウィンドウリサーチとパワーポイント作成と発表
期末試験	20%	教科書からの出題

■教科書

「ショップ・ディスプレイ 商空間のVMD ～VMDの売場活用術～(田口早苗著)

■参考文献

VMD用語事典(日本VMD協会編著)「商品装飾展示」技能検定試験用に使用。

■オフィスアワー・研究室

講師控室(大学校舎1階)

前期:木曜日→授業終了後1時間。

後期:金曜日→授業終了後1時間。

■備考

- ①パワーポイントでデータを加工し発表するため、12回目以降コンピュータールームでの授業が入る。
- ②「商品装飾展示」技能検定試験は4月上旬が申し込み、夏に試験です。
- ③「商品装飾展示」技能検定試験実技は問題公示の6月後、「対策セミナー」の特別コースがあります。
- ④技能検定の学科試験は、授業中に簡単なテスト形式で実施予定
- ⑤「商業ラッピング」検定は9月に対策セミナー開催。10月に試験。
- ⑥受講生が多い場合は、コンピュータールームに入りきらないため2～3にグループを分けて対応
残りのグループは実技のスキルアップを教室にて実施。内容は随時告知。
- ⑦教科書を持参すること

服飾クラフト

永田 貴恵子

3年 前期又は後期 選択 (1単位 実習)

■授業の方針・概要

手芸 (Hand Craft) は、世界各地で古い昔から行われその土地の生活様式に合った特有の色や模様が作り出されて来ました。本授業では様々な刺繍の知識を深め、基礎となる刺繍の材料 (布・糸・針など) の扱い方や技法を学びます。

■到達目標 (学修成果)

刺繍の基本的な技法を習得し、刺繍小物を制作して生活の中にデザインを取り入れられるようにすることを目標とします。また、図案を構成し刺繍技法を組み合わせる応用力をつけることも目指します。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

専門の選択科目で卒業要件単位となり、服飾造形の基礎力の向上に資する科目です。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回	様々な刺繍を知る 刺繍材料の取り扱い方	予習: シラバスを読む	10分
2回	ヨーロッパ刺繍 ティーマットの制作	復習: 本日の基礎刺しの確認。練習。	30分
3回	ヨーロッパ刺繍 基礎刺し	復習: 本日の基礎刺しの確認。練習	30分
4回	ヨーロッパ刺繍 基礎刺し	復習: 本日の基礎刺しの確認。練習。	30分
5回	ヨーロッパ刺繍 基礎刺し 仕上げ	復習: 本日の基礎刺しの確認。 予習: ビーズ刺繍について調べる	30分 10分
6回	ビーズ刺繍 かぶせ付きポーチの制作	復習: 本日の基礎刺しの確認。練習。	30分
7回	ビーズ刺繍 ビーズ・スパングル・ミラー	復習: 本日の基礎刺しの確認。練習。	30分
8回	ビーズ刺繍 ビーズ・スパングル・ミラー 仕上げ	復習: 本日の基礎刺しの確認。練習。 予習: リボン刺繍について調べる。	30分 10分
9回	リボン刺繍 巾着の制作	復習: 本日の基礎刺しの確認。練習。	30分
10回	リボン刺繍 リボンのバラの刺し方	復習: 本日の基礎刺しの確認。練習。	30分
11回	リボン刺繍 仕上げ	復習: 本日の基礎刺しの確認。練習。 予習: スモッキング刺繍について調べる。	30分 10分
12回	スモッキング刺繍 ミニバッグの制作	復習: 本日の基礎刺しの確認。練習。	30分
13回	スモッキング刺繍	復習: 本日の基礎刺しの確認。練習。	30分
14回	スモッキング刺繍	復習: 本日の基礎刺しの確認。練習。	30分
15回	授業で制作した作品の基礎刺しの確認と刺繍の知識を整理する。	復習: 授業で制作した作品の基礎刺しの確認を行う。	60分

■フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

作品返却時にその都度講評をします。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
作品	40%
応用	30%

■教科書

授業時に適宜プリントを配布します。

■参考文献

なし

■オフィスアワー・研究室

教務課

■備考

別途教材費がかかります。

インターンシップ

北折 貴子

3年 集中 選択 (2単位 実習)

■授業の方針・概要

インターンシップ（就労体験）を通して、専門分野に関連する実務体験を企業で体験・学修します。実務能力を高め、企業で必要とされる能力を感じ取ることで、卒業後の就職に対する意欲と学内での学修をより深く理解することができます。

■到達目標（学修成果）

学内授業では得られない就労体験を行うことで将来の就職に生かせる理解と能力を身につけることを目標とします。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門選択科目の卒業要件科目です。将来の就職に向けて仕事を理解するための選択科目です。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回	オリエンテーション：事前授業によるカリキュラムとスケジュール、目的、内容説明。希望職種アンケート記入。	予習：企業について研究する。	90分
2回	面談：研修先企業や職種について就職部職員との面談	復習：研修先について検討する。	60分
3回	事前授業：研修の心得とマナー等について ・企業人事の講義「企業が望むインターンシップ」	復習：企業の講義について振り返る。	30分
4回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
5回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
6回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
7回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
8回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
9回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
10回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
11回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
12回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
13回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
14回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書き、報告書をまとめる。	90分
15回	事後報告：報告書、研修日誌の提出と報告会での発表および講評	復習：報告会での講評を振り返る。	30分

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法（モニタリングを含む）

研修日誌による毎日の提出内容の講評、最終報告書提出の講評、報告会による講評を当日その都度フィードバックする。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	10%	① 事前授業や事後報告は必修です。
企業評価	70%	② 企業での就労態度や実務が評価されます。
提出物	20%	③ 研修日誌や報告書

■教科書

なし

■参考文献

なし

■オフィスアワー・研究室

授業初日に伝えます。教室：2401 教室（第2校舎4階）・研究室：研究棟2階 6021

■備考

実務時期、期間：3年生夏休み（評価は3年後期）または3年生春休み（評価は4年前期）で2週間以上
研修内容、地域：企業により異なる。地域は主に首都圏および各県

長期インターンシップ

北折 貴子

3年 集中 選択 (4単位 実習)

■授業の方針・概要

インターンシップ（就労体験）を通して、専門分野に関連する実務体験を企業で体験・学修します。実務能力を高め、企業で必要とされる能力を感じ取ることで、卒業後の就職に対する意欲と学内での学修をより深く理解することができます。

■到達目標（学修成果）

学内授業では得られない就労体験を行うことで将来の就職に生かせる理解と能力を身につけることを目標とします。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門選択科目の卒業要件科目です。将来の就職に向けて仕事を理解するための選択科目です。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回	オリエンテーション：事前授業によるカリキュラムとスケジュール、目的、内容説明。希望職種アンケート記入。	予習：企業について研究する。	90分
2回	面談：研修先企業や職種について就職部職員との面談	復習：研修先について検討する。	60分
3回	事前授業：研修の心得とマナー等について ・企業人事の講義「企業が望むインターンシップ」	復習：企業の講義について振り返る。	30分
4回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
5回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
6回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
7回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
8回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
9回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
10回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
11回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
12回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
13回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
14回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書き、報告書をまとめる。	90分
15回	事後報告：報告書、研修日誌の提出と報告会での発表および講評	復習：報告会での講評を振り返る。	30分

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法(モニタリングを含む)

研修日誌による毎日の提出内容の講評、最終報告書提出の講評、報告会による講評を当日その都度フィードバックする。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	10%	① 事前授業や事後報告は必修です。
企業評価	70%	② 企業での就労態度や実務が評価されます。
提出物	20%	③ 研修日誌や報告書

■教科書

なし

■参考文献

なし

■オフィスアワー・研究室

授業初日に伝えます。教室：2401 教室（第2校舎4階）・研究室：研究棟2階 6021

■備考

実務時期、期間：3年生夏休み（評価は3年後期）または3年春休み（評価は4年前期）で4週間相当
研修内容、地域：企業により異なる。地域は主に首都圏および各県

メディアアート論

渡辺 教子

3年 前期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

ファッションビジネス業界におけるメディアの果たす重要性を理解し、授業を通じて基本的なメディア・リテラシーやビジネスに必要なブランド戦略について習得をする。次に多岐にわたるメディア・アートを「実践的・実学的」に捉え、いかにファッションとメディア、そしてアートが錯綜しつつ、時代を作り上げてきたかを検証、講義を進める。グローバル社会の中、デザインやアートの重要性は昨今とみに増し、そしてメディア戦略に長けた企業や個人でなければ、社会で認知され、評価を受けるのは厳しい現況となりつつある。機能性とクリエイティビティの両輪が、「ファッション」=「衣、食、住、遊、知」に必要とされる今、メディアとアートの関係性を考える授業を組み立てる。またファッションビジネスやメディアアートに関わるプロフェッショナルな専門家を特別講師として招聘し、ブランドビジネスとは、メディアアートとは、彼等が表現者として関わるメディアについて、「成功談・失敗談」等含めて 体験的講義を聞くことにより、より身近な自分たちのビジネスへと考えを馳せる。

■到達目標 (学修成果)

- ①社会に必要とされる基本的なメディア・リテラシー並びに戦略的なブランド構築の知識を習得する。
- ②ファッションビジネスにおいて実践的にメディアやアートを活用した成功例を検証しつつ、メディアアートの現状とブランディング戦略、それに必要な事例を学び、知識を習得する。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門選択科目で卒業要件科目となり、ファッション業界で活躍できる人材になるよう学修する科目です。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回	オリエンテーション、講師自己紹介、授業計画の説明	予習:シラバスを熟読し、その重要性に関し、認識する	30分
2回	ビジネスにおける必要なメディアリテラシー	復習:配布資料や授業時に使用したレポートの読み返しをしてください	30分
3回	メディアとファッションにおけるブランド戦略	復習:配布資料や授業時に使用したレポートの読み返しをしてください	30分
4回	進化し続けるメディアアート その歴史に対する考証、今の在り様に関して	復習:配布資料や授業時に使用したレポートの読み返し	30分
5回	メディア・アーティストの活躍	復習:配布資料や授業時に使用したレポートの読み返し	30分
6回	メディア・アート ビジネス構造の検証	復習:配布資料や授業時に使用したレポートの読み返し	30分
7回	SNS が席捲する時代。メディア・アートとデジタルメディア	復習:配布資料や授業時に使用したレポートの読み返し	30分
8回	売れっ子のファッションディレクターの視点。ファッションメディアにおけるアートの試み。	復習:配布資料や授業時に使用したレポートの読み返し	30分
9回	アートとファッション その関係について	復習:配布資料や授業時に使用したレポートの読み返し	30分
10回	実践的なブランディングに必要なコミュニケーションスキルの取得	復習:配布資料や授業時に使用したレポートの読み返し	30分
11回	TV 業界におけるメディア・アートへの挑戦	復習:配布資料や授業時に使用したレポートの読み返し	30分
12回	音楽業界のメディア・アートへの挑戦	復習:配布資料や授業時に使用したレポートの読み返し	30分
13回	IT とメディア・アートの関係	復習:配布資料や授業時に使用したレポートの読み返し	30分
14回	基礎問答:進化、深化、ファッションビジネスは、いかにメディア・アートとのコラボレーションできるか、提言	講義中に数度提出した資料を全て読み返す	45分
15回	まとめ: これまでの講義のフィード・バックを行う	講義中に数度提出した資料を読み返す	45分

■フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

授業内に提出した課題について解説と講評をします。

■成績評価の方法・基準

授業態度・並びに姿勢	30%
日常課題	50%
課題図書へのレポート提出	20%

私語並びに居眠り、プライベート使用でのスマホなど禁止します。

■教科書 授業時に指示しますから、購入するなどの準備をする必要はありません。

■参考文献 あらゆる関連書籍や新聞から、メディアやブランド戦略、芸術に関する知識を習得してください。

■オフィスアワー・研究室 出講日:金曜日(前期) 連絡先:教務課(本校舎1階)

■備考 専門以外も、質問や相談にのりますから、困ったことがあったら連絡ください。

但しすべて解決できるということではありません。お互いに解決策を見つけていきましょう。

ファッション画（CG）

福地 宏子

3年 前期又は後期 選択 （1単位 実習）

■授業の方針・概要

グラフィックソフト（Illustrator/Photoshop）を使用したコンピューターによる演習を行います。基本操作を身に付け、スタイル画への着色表現やパターン柄の制作、ハンガーイラスト画を制作します。ファッションデザインの各種コンテストにも積極的に参加していきます。

■到達目標（学修成果）

Illustrator/Photoshopの基本操作を身に付け、ソフトの特徴を活かした作品を制作できる。

ソフトの連動性を理解し、自身のファッション表現の可能性を広げる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目の専門選択科目の単位となります。ディプロマポリシーでは、服飾関係の専門的職業で活かせるような表現力や、豊かな発想力の向上に資する科目です。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回	【Illustrator/Photoshop】 ・基本操作・ツールの説明	【予習】履修便覧を読んでおく 【復習】操作方法や説明等を振り返る	10分
2回	・ペンツールによる各種アイテムのハンガーイラスト画 (様々なツールの説明、実践も含む)	【復習】操作方法や説明等を振り返る	30分
3回	〃	【復習】自身の作品を振り返る	30分
4回	【Illustrator】(様々なツールの説明、実践も含む) ・パターン柄の制作	【復習】自身の作品を振り返る	30分
5回	【Photoshop】(様々なツールの説明、実践も含む) ・ハンガーイラスト画への実物素材、制作素材のペースト方法 等	【予習】アイテムに合った素材をリサーチし、用意する	60分
6回	〃	【復習】自身の作品を振り返る	30分
7回	【Photoshop】(様々なツールの説明、実践も含む) ・パターン柄の制作	【復習】自身の作品を振り返る	30分
8回	【Illustrator/Photoshop】 ・各自のテーマによるスタイル画着色表現	【予習】テーマ、デザインイメージを事前にまとめておく	60分
9回	〃	【復習】自身の作品を振り返る	30分
10回	【Illustrator/Photoshop】 ・展覧会、展示会を想定したDM制作	【予習】テーマ、イメージ等を事前にまとめておく	60分
11回	〃	【復習】自身の作品を振り返る	30分
12回	【Illustrator/Photoshop】 ・各種コンテストへの作品制作	【予習】コンテストへのラフスケッチやリサーチを行う	60分
13回	〃	【予習】コンテストへのラフスケッチやリサーチを行う	60分
14回	【Illustrator/Photoshop】 ・オリジナルデザインによる作品制作	【予習】テーマ、デザインイメージを事前にまとめておく	60分
15回	〃	【復習】自身の作品を振り返る	30分

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

作品提出、配布物はPC内のシステムを活用することで、各自の進捗で操作、制作が可能である。課題はデータ、紙出力とどちらも提出し、紙には評価の際にコメント記入をして返却する。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
作品	70%

■教科書

必要に応じてプリントを配布

■参考文献

授業時に必要に応じて適宜紹介する

■オフィスアワー・研究室

【オフィスアワー】第1回目の授業時に指示する

【研究室】ファッション画研究室（研究棟2階 6023・6022）

■備考

進捗により授業計画が変更になる場合もある

アパレル産業論特講

渡辺 博史

3年 前期又は後期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

情報の洪水状況の中で自分に合ったメディアを選択することを訓練する講座です。日々の変化を織研新聞で読み、聞き、語り、自分の物にしていきます(スクラップ)。「ファッションの仕事」といった漠然とした概念を「実態」として捉えます。受講期間中は織研新聞を自宅購読してもらいます。申告の際、教務課に申し込んでください。購読はNIE方式(備考参照)のため、学割料金が適用されます。ファッション産業の「昨日」、「今日」、「明日」を読み解き、自分の興味の領域を具体化することで就職活動も視野に入れます。

■到達目標(学修成果)

- ①メディア・リテラシー(読み、書き、話す)を習得する
- ②ニュース報道の背景を知り、グローバルに対応するオピニオン形成力を習得する

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件については、専門選択科目の単位となります。専門コースに拘らず選択することが出来、ファッション業界で活躍できる専門力向上に資する科目です

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回	イントロダクション:新聞の見かた、読み方、検索技術など。スクラップの作成。	予習:シラバスを読む。	30分
2回	ニュースとは何か:ファッションニュース、経済記事、企業記事、解説記事、決算・人事の読み方	復習:ニュースの種類を認識する 予習:1週間分の織研新聞を読む	30分
3回	1週間の紙面から関心を引いた記事を1、2本選び、解説・説明する。	復習:ニュースの種類を認識する 予習:1週間分の織研新聞を読む	30分
4回	1週間の紙面から関心を引いた記事を1、2本選び、解説・説明する。	復習:ニュースの種類を認識する 予習:1週間分の織研新聞を読む	30分
5回	1週間の紙面から関心を引いた記事を1、2本選び、解説・説明する。	復習:ニュースの種類を認識する 予習:1週間分の織研新聞を読む	30分
6回	1週間の紙面から関心を引いた記事を1、2本選び、解説・説明する。	復習:ニュースの種類を認識する 予習:1週間分の織研新聞を読む	30分
7回	1週間の紙面から関心を引いた記事を1、2本選び、解説・説明する。	復習:ニュースの種類を認識する 予習:1週間分の織研新聞を読む	30分
8回	1週間の紙面から関心を引いた記事を1、2本選び、解説・説明する。	復習:ニュースの種類を認識する 予習:1週間分の織研新聞を読む	30分
9回	1週間の紙面から関心を引いた記事を1、2本選び、解説・説明する。	復習:ニュースの種類を認識する 予習:1週間分の織研新聞を読む	30分
10回	1週間の紙面から関心を引いた記事を1、2本選び、解説・説明する。	復習:ニュースの種類を認識する 予習:1週間分の織研新聞を読む	30分
11回	1週間の紙面から関心を引いた記事を1、2本選び、解説・説明する。	復習:ニュースの種類を認識する 予習:1週間分の織研新聞を読む	30分
12回	1週間の紙面から関心を引いた記事を1、2本選び、解説・説明する。	復習:ニュースの種類を認識する 予習:1週間分の織研新聞を読む	30分
13回	1週間の紙面から関心を引いた記事を1、2本選び、解説・説明する。	復習:ニュースの種類を認識する 予習:1週間分の織研新聞を読む	30分
14回	スクラップ帳を大テーマに分類する	予習:これまでの発表とスクラップから自分の関心領域を知り、テーマを決める	30分
15回	総括:スクラップ帳の作成と提出	予習:自分の関心領域を知り、テーマを決める	30分

■フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

提出されたスクラップ帖は、評価後に各自に返却します

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
分析と発表	30%
スクラップ帳提出	40%

■教科書

織研新聞を期間中、自宅購読します。(購読料は学割)

■参考文献

授業時に指示します

■オフィスアワー・研究室

月曜日 12時10分~13時 第4校舎・流通イノベーション実習室(4016)

■備考

※NIE(エヌ・アイ・イー)はNewspaper in Educationの略称で「教育に新聞を」と訳しています。新聞を教材に勉強する学習活動をいいます。1930年代にアメリカで始まり、世界新聞協会(WAN)の調査では、35カ国で活動が行われています。

ファッション史

鈴木 桜子

3年 前期又は後期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

私たちがいま着ている現代衣服の源流は、およそ100年前に遡ります。その間、多くの革新的なデザイナーが誕生し、流行のファッションが繰り広げられてきました。しかし、一見、一過性の流行と思われがちなその現象の背後には、政治的・社会問題や同時代の芸術・デザイン運動との関連性が見受けられます。

本授業では、近現代を中心に、デザイン諸領域の動向を理解しながら、服飾デザインの理論とその歴史性を探っていきます。

■到達目標（学修成果）

時代のデザイン思考を学ぶことによって、学生一人ひとりがファッションに対する考え方を確立していくきっかけの一つになれば、本授業の目標は達成されたといえるでしょう。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本授業は選択科目ではありますが、2年次の必修科目「西洋服飾文化史」と合わせて服飾史として通史が完成される内容になっています。モードクリエーションコースをはじめ、本学学生には必須の授業です。卒業要件科目です。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回	オリエンテーション 現代ファッションの100年	復習：ノートの確認	20分
2回	デザイン運動とファッション① ジャポニスム	復習：ノートの確認+α *+αは更に自ら調査研究を深めます。	40分
3回	② 改良服運動	復習：ノートの確認+α	40分
4回	③ アール・ヌーヴォー	復習：ノートの確認+α	40分
5回	④ ウィーン工房	復習：ノートの確認+α	40分
6回	⑤ ロシア構成主義とデ・スタイル	復習：ノートの確認+α	40分
7回	⑥ バウハウス	復習：ノートの確認+α	40分
8回	モードの革新者たち① ポール・ポワレ	復習：ノートの確認+α	40分
9回	② マドレーヌ・ヴィオネ	復習：ノートの確認+α	40分
10回	③ ガブリエル・シャネル	復習：ノートの確認+α	40分
11回	④ エルザ・スキヤパレリ	復習：ノートの確認+α	40分
12回	戦後のモード ディオールからサンローランまで	復習：ノートの確認+α	40分
13回	モードの多様化 アンチ・モード	復習：ノートの確認+α	40分
14回	日本人デザイナーたち	復習：ノートの確認+α	40分
15回	復習とまとめ	予習：復習とまとめ	100分

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回提出するプリントを次回授業時に返却します。また進度に合わせて評価を付けフィードバックします。

■成績評価の方法・基準

プリント提出	80%
授業態度・姿勢	20%

■教科書

塚田耕一・鈴木桜子「年表：現代ファッションの100年」

その他に毎回プリントを配布します。

■参考文献

鈴木桜子監修『オートクチュール』白水社、その他授業内で紹介します。

■オフィスアワー・研究室

前期・後期 木曜日 15:00～16:00 3413 ファッション文化論研究室

■備考

なし

民族衣裳論

梅谷 知世

3年 前期又は後期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

現代社会では多くの民俗が世界共通の衣服である「洋服」を着用しています。しかしその一方で、世界各地に民俗独特の衣服である民族服（民族衣裳）がみられ、人びとの心の拠り所となっています。本講義では、アジアやヨーロッパの民族服を取り上げ、形態や文様、染織技法などの特徴を解説するとともに、それぞれの民族服成立の背景について考えていきます。さらに、現在の服飾文化における民族服のあり方を捉え、民族服の意味について考察を深めます。

■到達目標（学修成果）

- ①民族服を考えることを通して、服飾の多様なあり方を理解する。
- ②民族服に託された人びとの心を知り、異文化理解の手がかりとする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門選択科目の卒業要件科目です。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回	ガイダンス、民族服とは	予習：シラバスの確認	15分
2回	琉球の民族服（1）	復習：ノート、配布資料、紹介された参考文献等を確認し、授業内容についての理解を深める。	50分
3回	琉球の民族服（2）	復習：同上	50分
4回	琉球の染織	復習：同上	50分
5回	アイヌの民族服（1）	復習：同上	50分
6回	アイヌの民族服（2）	復習：同上	50分
7回	中国の民族服（1）	復習：同上	50分
8回	中国の民族服（2）	復習：同上	50分
9回	韓国の民族服（1）	復習：同上	50分
10回	韓国の民族服（2）	復習：同上	50分
11回	インドネシアその他の東南アジアの民族服	復習：同上	50分
12回	インドその他の南アジアの民族服	復習：同上	50分
13回	ヨーロッパの民族服（1）	復習：同上	50分
14回	ヨーロッパの民族服（2）	復習：同上	50分
15回	まとめ 課題のフィードバックを行う。	予習：これまでの授業内容を振り返り、十分理解する。	100分

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

15回目に課題についての解説を行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	15%
授業時のリアクションペーパー	15%
試験	70%

■教科書

なし

■参考文献

授業時に適宜紹介します。

■オフィスアワー・研究室

出講日：前期：水曜日

後期：金曜日

授業時間の前後に、教室または講師控室にて対応します。

■備考

美術館や博物館に足を運び、民族服の実物を見学する機会を持つよう心がけましょう。

染織史

田中 潤

3年 前期 選択 学芸員課程必修 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

古代以来人々の生活には様々な染織品が用いられてきました。そうした中で、染により表現される色彩、織により表現される文様や光沢は、人々の美意識を発露する手段であったとともに、身分制社会においては、地位・身分・職務を可視化する上で重要な役割を果たしてきました。この講義では、できる限り実物の染織品にふれることを通じて、博物館・美術館の展示ではわかりにくい染織品の姿を、立体的、体感的に紹介します。

■到達目標（学修成果）

様々な染織品の材料が、どのような性格を持ち、どのように使い分けられ、今日まで伝えられてきたのかを、歴史的な切り口と併せながら理解することを目標とします。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門選択科目の卒業要件科目です。また、学芸員資格取得のための学芸員課程必修科目です。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回	オリエンテーション・授業計画紹介・公家・女房装束と染織について。	予習：シラバスを読む。	30分
2回	女房装束（十二単・袴）の着装	予習：第1回に配布した資料を熟読。 復習：配布資料で知識の整理。	30分
3回	伝統装束に用いられる染織品の素材①	復習：配布資料で知識の整理。	30分
4回	伝統装束に用いられる染織品の素材②	復習：配布資料で知識の整理。	30分
5回	博物館見学事前学習。（博物館の展示計画に応じて、時期を決定の上、アナウンスします。）	復習：配布資料で知識の整理。	30分
6回	博物館見学①（東京国立博物館見学①）博物館見学②と連続して行います。学生証を必ず持参して下さい。	復習：配布資料で知識の整理。	30分
7回	博物館見学②（東京国立博物館見学②）	復習：配布資料で知識の整理。	30分
8回	公家装束と有識織物（人間国宝喜多川平朗・俵二の世界）	復習：配布資料で知識の整理。	30分
9回	公家装束の着装	復習：配布資料で知識の整理。	30分
10回	名物裂の世界	復習：配布資料で知識の整理。	30分
11回	更紗文化の展開	復習：配布資料で知識の整理。	30分
12回	染織品の劣化と保存	復習：配布資料で知識の整理。	30分
13回	染織加工品とその用途（武家の装い）	復習：配布資料で知識の整理。	30分
14回	即位の礼・大嘗祭にみられる染織品の数々	復習：配布資料で知識の整理。	30分
15回	まとめ。歴史的な後世に伝えるために。	復習：配布資料で知識の整理。	30分

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

出席カードの裏面に、毎回授業の感想や疑問など、どんなことでもよいので記入してください。翌週講義の冒頭に、感想質問事項など、他の受講生の疑問点などを共有し、理解を深めます。

■成績評価の方法・基準

授業態度・取組姿勢	30%
展示等見学レポート	30%
期末レポート	40%

■教科書

特に指定しません。適宜資料を配布します。

■参考文献

山辺知行監修『日本の染織』全10巻 中央公論社 1982～83 鈴木敬三著 『有識故実図典』吉川弘文館 1995
増田美子編『日本衣服史』吉川弘文館 2010 各講義の際に当該参考文献を提示します。

■オフィスアワー・研究室

出講日：前期 金曜日 連絡先：教務課（本校舎1階）

■備考

適宜染織に関する展示の見学会等を行います。また、いわゆる衣冠束帯や十二単などの装束の着装体験を行い、伝統的な染織品を実際に身に付け、体感してもらいますので、その折には積極的な着用や補助への参加を希望します。

ファッションプレゼンテーション演習

矢内 みどり

3年 前期 選択 学芸員課程必修 (2単位 演習)

■授業の方針・概要

「ファッション」という言葉は、時代や国によってさまざまな意味の変化を遂げてきました。ここでは、生活文化全般についてのトレンドやスタイルを広く扱います。そして、美術館、博物館等展示施設での多様なジャンルの展覧会や教育プログラムを中心に、創造の基礎を学び、より豊かな自己表現としてのファッションを探究します。

■到達目標（学修成果）

本授業では、展覧会や教育プログラムの調査や企画、実施までの過程を知り、ファッションを通していかに新鮮な主張を発信するかを学びます。また、こうした実務を知ることで、学芸員が展覧会や教育プログラムを企画するにあたり、研究、分析の成果などから導かれる新たな視点を生かすという、基本的なコンセプトを理解できるようになります。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門選択科目の卒業要件科目です。また、学芸員資格取得のための学芸員課程の必修科目です。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回	オリエンテーション。授業計画。展覧会・教育プログラムの調査、企画・実施の実務の概要について。（見学先は本授業のテーマに合う、展示・教育プログラムの評価の高い会場を設定し、候補会場との交渉を経て決定する。以下の予定は先方の関係等により変更することがある。） 展覧会・教育プログラム企画書作成の概要。	予習：シラバスを読んでおく。	60分
2回	見学①（原則として教室に集合し、見学内容等を講義してから見学先に行く）	復習：見学内容の小レポート（用紙配布）を作成し、次回の授業で提出する。	30分
3回	見学②（同上）	復習：同上	同上
4回	見学③（同上）	復習：同上	同上
5回	見学④（同上）	復習：同上	同上
6回	見学⑤（同上）	復習：同上	同上
7回	見学⑥（同上）	復習：同上	同上
8回	見学についての中間まとめ、ディスカッション。 展覧会・教育プログラム企画書作成の実務について。	予習：これまでの見学内容と小レポートを振り返る	60分
9回	見学⑦（原則として教室に集合し、見学内容等を講義してから見学先に行く）	復習：見学内容の小レポート（用紙配布）を作成し、次回の授業で提出する。	30分
10回	見学⑧（同上）	復習：同上	同上
11回	見学⑨（同上）	復習：同上	同上
12回	見学⑩（同上）	復習：同上	同上
13回	見学についての全体まとめ、ディスカッション。 期末レポートとしての展覧会・教育プログラム企画書のプレゼンテーション準備	予習：小レポートを振り返る。 企画書内容の確認	同上
14回	展覧会・教育プログラム企画書のプレゼンテーション、ディスカッション	予習：企画書内容のブラッシュアップ	60分
15回	まとめ 見学小レポート、企画書のフィードバックを行う	復習：小レポート、企画書を振り返る。	同上

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

期末レポートのフィードバックは第15回の時に行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
日常課題	30%
期末レポート	40%

■教科書

特に指定しない

■参考文献

授業時に指示する

■オフィスアワー・研究室

前期 土曜日（2時～2時40分）本校舎1階教務課または大学校舎1階講師控室

■備考

なし

ドレーピング&パターンメイキング（選）

三科 三四子

3年 前期 選択 (1単位 実習)

■授業の方針・概要

コースに関係なく、ドレパタを学びたい学生を対象に開講します。
受講学生の能力に合わせて内容の変更も有り。

■到達目標（学修成果）

基本理論と基本技術の復讐と、立体と平面とを兼ね合わせ、立体的な服の見方を学び応用へと発展させることとします。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

ファッション業界で活躍できる専門力向上に資する科目です。卒業要件科目です。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回	立体裁断の基本理論と操作 人台・天竺の扱い 原型のドレーピング	天竺の用意 90 cm幅×50 cm	15分
2回	原型のドレーピング	天竺の用意 90 cm幅×70 cm 1回終了段階までの準備	30分
3回	原型のドレーピング&パターン作成 印付けからパターントレース	2回終了段階までの準備	30分
4回	原型パターンの考え方と基本操作 ユルミの考え方と操作	3回終了段階までの準備	30分
5回	パターンメイキングのための組み立て方法	4回終了段階までの準備	30分
6回	立体シルエットの見方と修正方法	5回終了段階までの準備	30分
7回	スカートの基本理論から応用	6回終了段階までの準備	30分
8回	スカートのドレーピング	天竺用意 90 cm幅×80 cm 7回終了段階までの準備	30分
9回	立体的な袖の考え方 計測方法と製図方法	天竺の用意 90 cm幅×70 cm 8回終了段階までの準備	30分
10回	袖のつけ方と修正	9回終了段階までの準備	30分
11回	ダーツの考え方 ダーツの展開	天竺の用意 90 cm幅×50 cm 10回終了段階までの準備	30分
12回	ダーツの移動と分散方法	天竺の用意 90 cm幅×50 cm 11回終了段階までの準備	30分
13回	衿 首と衿ぐりとの関係 基本的な衿のドレーピング	天竺の用意 12回終了段階までの準備	30分
14回	衿の応用 ドレーピングとパターンメイキング	天竺の用意 13回終了段階までの準備	30分
15回	自由課題	14回終了段階までの準備	30分

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内で課題を点検し、その場で学生に対して個別指導を行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度（意欲・出席率）	25%
訓練度（正確度・速度）	25%
感性（表現力・創作力）	25%
理解度（記憶力・分析力）	25%

■教科書

立体裁断 「基本理論」 小山千暁 他著 (有) c f k 1 9 9 1
立体裁断 「基本理論から応用」 小山千暁 他著 (有) c f k 1 9 9 1

■参考文献

「工業用パターンガイドブック」 小山千暁 他著 (株)アミコファッションズ

■オフィスアワー・研究室

土曜日 9:00～12:00 第2新校舎 2402 教室 事前に出席の申告を必要とする

【連絡研究室】ドレーピング&パターンメイキング研究室（第3校舎1階3106 教室）

■備考

授業に必要なテキスト・道具・天竺などの準備は必ず時間前に用意すること。